

平成27年度第3回那珂市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成28年1月14日(木)
午前10時00分～午前10時18分

2 場 所 那珂市役所5階503・504会議室

3 出席者
(構成員) 市 長 海野 徹
教育委員長 中澤 明(欠席)
教 育 委 員 佐藤 哲夫
教 育 委 員 住谷 光一
教 育 委 員 小笠原 聖華
教 育 長 秋山 和衛

(事務局) 【総務部 総務課】
総務部次長兼総務課長 川崎 薫
課長補佐(総括) 渡辺 荘一
課長補佐(総務グループ長) 石井 宇史
総務グループ係長 山崎 武
【教育委員会教育部 学校教育課 指導室】
教育部長 会沢 直
教育部次長兼学校教育課長 園部 勢津子
課長補佐(総括) 清水 貴
課長補佐(総務・再編グループ長) 田口 裕二
副参事兼指導室長 大高 伸一
【教育委員会教育部 生涯学習課】
生涯学習課長 桧山 達男
課長補佐(総括) 小林 正博

4 会議次第

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議事項
(1) 那珂市教育大綱(最終案)について
(2) その他
- 4 連絡事項
- 5 閉 会

5 内 容

総務課長： 定刻となりましたので、ただいまから平成27年度第3回那珂市総合教育会議を開催いたします。本日は、中澤教育委員長が欠席となっております。

始めに、海野市長からあいさつをお願いいたします。

市長： おはようございます。本日は平成27年度第3回目の総合教育会議となりますが、教育委員の皆様方には、ご多忙の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、平素から教育の充実発展にご尽力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

さて、これまでに2回の会議を開催しまして、大綱策定に向けた意見交換の中で、皆様のお考えや教育に対する思いなどをお聞かせいただき、大変有意義な会議であったと思っております。

今回の会議では、議題にあります那珂市教育大綱について、先の会議での意見を参考に修正した最終案をお示しいたしました。この最終案について、ご意見をいただき、那珂市教育大綱を決定したいと考えております。慎重なるご協議をお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

どうかよろしくをお願いいたします。

総務課長： ここからは那珂市総合教育会議設置要綱第4条第1項に基づき、市長が議長となり会議を進めていくことになります。

それでは、市長よろしくをお願いいたします。

市長： それでは要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

市長： それではこれより協議事項に入ります。次第第3の1にございます「那珂市教育大綱（最終案）について」を議題といたします。事務局から説明願います。事務局。

総務再編G長： それでは第2回の総合教育会議で、委員の皆様からご意見いただきました修正箇所を中心にご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

それではお手元の資料3ページをご覧ください。施策1の部分でございます。こちら下から5行目のところでございますけれども、「有効活用を図ってまいります」という表現、こちらの表現ですけれども、前後の文章と文末を合わせるということで、「（ALT）の有効活用を図っていきます」というかたちに修正をさせていただきました。

次でございます。4ページをご覧ください。施策1のところ

ございますけれども、いじめ問題のところでございます。「いじめ問題については、いじめは絶対に許さないとの意識をすべての人が持ち、」という表現で当初作成しておりましたけれども、市民と市が意識を共有するということが大切だということで、そういった表現に変えさせていただいております。「いじめ問題については、いじめは絶対に許さないとの意識をすべての人（市民）と共有し、」というかたちに訂正いたしまして、その下の部分ですけれども、年月につきましては特に必要な表現ではないという意見もございましたので、「平成２７年４月にスタートした」というところは削除いたします。その２行下でございますけれども、「小学校教育との連携を視野に、」というところでございますけれども、幼児教育との連携につきましては今後さらに重要性を増すというご意見をいただいております。もう少し強い文言に修正するということで「小学校教育との連携強化を図りながら、」というかたちに修正をしております。

続きまして、施策２の部分でございます。市立図書館の部分でございますけれども、地域全体で子どもを育てることが重要性を増してくるというようなご意見をいただいております。そのような意見をいただきましたので、「また、学校と市立図書館との連携や図書館ボランティア等の活用を図り、子ども達の読書活動を支援していきます。」というかたちに修正をさせていただいております。

続きまして、施策３にまいります。こちらですけれども、健康づくりとスポーツの関係性についてもう少し示せばというご意見をいただいております。全体的に文章を一部修正しておりますので、読み上げさせていただきます。「那珂市スポーツ振興基本計画に基づき、生涯にわたるスポーツの推進による市民の健康づくりを実施するため、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブひまわりスポーツクラブを支援していきます。また、那珂総合公園を活用して、市民のニーズに応じた各種スポーツ教室や講習会の充実を図り、スポーツに親しむきっかけづくりやともに楽しむ仲間づくりの場を提供し、市民の健康の維持・増進に努めていきます。」というかたちに修正をさせていただきます。

続きまして、５ページをご覧ください。施策４の部分でございますけれども、青少年の健全育成の部分でございます。こちらにつきましては、青少年関連の団体は青少年育成那珂市民会議、こちらと一体の運動を行なうということから、青少年育成那珂市民会議が上位団体ということで、「青少年育成那珂市民会議と一体となった運動を展開していく」というような表現に変えさせていただいております。また、今後ボランティアとの連携が一層深まるというご意

見をいただいておりますので、家庭教育の部分でございますが、「家庭教育では、家庭教育力の向上に努めるとともに、家庭・学校・地域・ボランティアなど、関係機関との連携を一層深め、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進していきます。」というかたちに修正しております。

続きまして、施策5 歴史伝統文化の部分でございます。こちらにつきましては、文章の中で「市民の歴史」という表現を使っておりましたけれども、表現が誤解を招きやすいのではないかというようなご意見をいただきましたので、1行目のところですが、「文化遺産に接する機会を提供し、郷土の歴史や文化財への深い理解と関心を高められるよう」というかたちに修正をさせていただいております。その下の部分ですが、8行目9行目になりますが、こちらにつきましては、「郷土那珂市」というような重複するような表現がございました。また表現の中に年月が入っていましたけれども、そういったものは特に必要ないということで削除させていただいて、歴史伝統文化の方についてまとめさせていただいております。修正箇所については、以上でございます。よろしくお願いいたします。

市長： ただいま修正案の説明がありました。大綱の最終案につきましてご意見等がありましたらお願いします。

住谷委員： 今、修正案を読ませていただいて、感想を述べたいと思います。今までかなり丁寧な議論がなされてきたと思います。大綱の基本施策ということで、個人的には簡単な文章表現でおおまかなところを書けばいいのかなというふうには思います。今までの議論の経過から言って、総論プラス各論に踏み込んだ表現もかなり入っております。そういった点では、かなり親切な大綱にできあがっているなというふうな印象を持ちましたので、感想を述べさせていただきました。それから、施策1の英語教育ということをかなり強調して入っているように思います。先月、那須塩原市の英語教育の実態、かなり先進的な取り組みを勉強させていただく機会がありまして、その関連から言うと、グローバル化ということであれば、多分那珂市だけに留まらず、あるいは茨城県に留まらず、日本に留まらず、世界的な人材育成というものが当然視野に入って来なければいけないような気がいたしますので、郷土教育の充実とともに、世界的視野を持った人材の育成といったものが将来盛り込めれば良いのかなという気がいたします。農業についても今、全国の各地区の農家は世界を相手に貿易とか、そういう売り込みに国を挙げて行なっているような状況がありますので、そういう点も今後、施策として取り入

れていかなければならないのかなという気もいたします。以上、ご意見申し上げます。

市長： はい。ありがとうございます。他にございましたらお願いします。

小笠原委員： 先程、住谷委員の方から英語教育の強化というのがありましたが、それはやはり私も那須塩原市の例を本当に彷彿とさせる内容で良かったなと思います。ただこれからは多分、英語はあくまでもツールであるという見方を私たちもきちんとしなければいけないなと思いました。何故かという、昨今小学生や中学生がどうしてもお互いのコミュニケーションを図る、それはもちろん日本語でなんですけれども、お互いのコミュニケーションを図ることが苦手になってきているという傾向があるというふうに先生からよく伺っています。つまり、対先生相手に、先生が中央として、中央に向かうコミュニケーションは非常にいいのだけれども、いざ子ども同士、横の繋がりであるとか、子どもの中でリーダーを決めて、その子を中心に何かを作り上げていくということがちょっと苦手な印象があるというような話を伺っています。英語をツールとしてきちんと身に着けると同時に、やはり何か物事を主導するっていうことに積極的に取り組める子ども達を今後育てていかなければいけないなというのを感じました。それがこの文章からも伺えるなというふうに感じております。特にこの大綱を基に後ろのページにある施策を実際にどう展開するかという中にチームティーチングであるとかコミュニケーション能力を向上させるということが具体的に示されているので、今後先生方が、学校や幼稚園などで実際に教育を行なう場合にも非常に参考になるのではないかなというふうに思います。以上です。

市長： はい。どうもありがとうございます。他にございますか。

佐藤委員： 私も感想的なことなんですが、これまでいろいろと、この案を作るにあたりましては、感想を申し述べさせていただきました。やはり3ページにあります施策の1ですが、那珂市では小中一貫教育が今年度から本格的に始められた、取り組まれたということが大きな目玉になっているなというふうに思っていました。そのことを改めて文章表現を読んでみまして、いろいろな研究発表会等で参加させていただいた中で学校での子ども達の様子を見させていただいて、学校として認識・自覚が深まってきているなというようなものを感じてきているというふうな心強い思いをしております。特に3

ページの一番下ですけれども、特別支援教育の研修というようなことにも触れられている。特別支援教育については、特にこれから一貫教育の中で充実が図られてくるのではないかと、その必要性もあると感じておりました。また4ページには、教育相談あるいは幼児教育というようなところにも触れておりますけれども、これは小中一貫教育とあわせて、那珂市の教育の推進のための大きな柱になるだろうというふうに期待しております。その次の生涯学習関連では、図書館の存在といいますか、非常に市民の文化活動の中心になっているなということを実感していて、私も利用させていただいていて実感しております。大変心強い存在であると思っておりました。今後ますます、この教育大綱に沿いまして教育実践がなされれば、また教育環境の整備がなされればというふうに思っております。以上です。

市長： はい。どうもありがとうございます。他にございますか。教育長から何かありますか。

秋山委員： ございません。

市長： どうもありがとうございました。大筋この案で良いということで、肉付けをしっかりとしようというご意見でございました。ありがとうございました。

それではこの最終案をもって那珂市教育大綱といたします。

委員の皆様から多くの意見をいただき那珂市らしい大綱が策定できたと感じております。これまでも委員の皆様とは共に那珂市の教育行政を進めてきたと認識しておりましたが、この総合教育会議において改めて意見交換を行ない、双方の理解が更に深まったと感じております。今後は、今回策定した那珂市教育大綱に基づきまして、那珂市の教育行政が進められていくこととなりますが、この総合教育会議の場におきまして、大綱の進捗状況等を検証しながら、那珂市の教育の更なる充実に向けて、委員の皆様と連携協力していければと思いますので、よろしくお願いいたします。

市長： 続きまして、次第3の2にございます「その他」についてですが、委員の皆様から何かございますか。

(なし)

市長： 特にご意見等がないようでございますので、以上で、本日の協議事項を終了とさせていただきます。進行へのご協力、誠にありがと

うございました。進行を事務局にお返しします。

総務課長： はい。ありがとうございました。続きまして、次第４の連絡事項に入ります。事務局から何かありましたらお願いします。

総務Ｇ長： はい。事務局からの連絡事項といたしまして、今後についてですが、本日決定されました那珂市教育大綱につきましては、本庁内部の組織であります部長会議及び市議会の方に報告させていただきます。また、今後の会議につきましては、懸案事項等が出た場合に開催したいと考えております。また、市長からもございましたように、大綱の進捗状況の確認もございますので、年１回はご参集いただくことになると思います。その際にはその都度、通知を差し上げてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

総務課長： はい。その他、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。

（ なし ）

総務課長： ないようでございますので、以上をもちまして平成２７年度第３回那珂市総合教育会議を閉会といたします。慎重なご協議ありがとうございました。